

令和 7 年 4 月 7 日

葛城市立各学校保護者様

葛城市教育委員会
教育長 椿本 剛也
葛城市立白鳳中学校
学校長 中川 順一

《葛城市に大地震が起きたときの学校・園・家庭の対応について》

大きな地震が起きたときは、下記により対応いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

記

在宅時(登校前)に地震が発生した場合の対応

【震度 4 以下の地震】

地震がおさまった時点で安全確認をして、登校を原則とします。

※保護者が危険とご判断される場合は、自宅待機等適切な措置をお取りください。

【震度 5 弱以上の地震】

余震の恐れもあり、**臨時休校**とします。

状況をみて、葛城市学校メール（tetoru）、防災行政無線等でお知らせします。

登下校中に地震が発生した場合の対応

【揺れが小さいとき】

- 直ちに歩くことをやめ、止まって安全な場所で待機する。揺れがおさまってから、登校・下校する。（学校か家の近い方に移動）
- 家に帰っても家族がいない場合は、書き置きをして大人のいる安全な場所に避難する。

【揺れが大きかったり、長く続いたりしたとき】（東日本大震災時は 5 分間）

- 最寄りの屋外、避難に適当な場所に避難する。
 - ※通学路に近い各大字の公園、空き地などで待機する。
 - ※学校に近い場合は、学校運動場へ避難する。
 - ※車や建物、ブロック塀、窓ガラス、自動販売機などの危険な場所を避ける。
 - ※登校時、登校班の高学年児童は、低学年児童と一緒に行動する。（小学校）
- 職員は、学校に出動しだい在校児童・生徒の避難・安全確保・安否確認をし、最小限の職員が学校に残り、他の職員は各地域・方向ごとに見回り、保護者に引き渡した

り、学校に引率したりする。

○ 引き渡し方法に従って、児童を保護者に引き渡す。（小学校）

○ 保護者、家族等が不在の場合は、学校で待機、保護する。

※保護者、家族、親戚知人等、引き渡しカードに記載された方に引き渡す。（小学校）

☆ 保護者は、学校と可能な限り連携を図り、在宅中なら通学路の安全確認をしながら、徒歩で児童を（探しながら）迎えに来る。

学校にいるときに地震が発生した場合の対応

震度	児童・生徒の動き及び対応	保護者への連絡
震度4 以下	○揺れがおさまるの確認の上、必要に応じて運動場に避難 ○安全確認後、教室にもどし、通常通り授業を実施 ○ <u>ライフラインに破損のある場合</u> 一斉下校（部団ごとに確認） （授業を切り上げ下校する場合もある） 必要に応じて部団担当の職員が引率下校	<電話・メール使用可能> ◎葛城市学校メール(tetoru)・市HPで「下校時刻と部団下校」を連絡・配信 <電話・メール使用不可能> ◎ <u>防災行政無線</u> で市内放送
震度5弱 以上	○揺れがおさまるの確認の上、運動場に避難 ○安全確認後、下校 ・小学校 <u>保護者へ引き渡し、下校</u> ※保護者・親戚知人が来校できない場合 学校で児童をお預かりします。 ※学童保育の児童も同様 学童保育開設時は、学童保育でお預かりします。 ・中学校 安全を確認後、下校	<電話・メール使用可能> ◎葛城市学校メール(tetoru)・市HPで「引き渡し依頼」を連絡・配信（小学校） <電話・メール使用不可能> ◎ <u>防災行政無線</u> で市内放送 ※すべての連絡手段がないことも想定されます。

震度5弱以上の地震が発生した翌日以降の措置の連絡

教育委員会と学校長が協議し、その結果を学校メール（tetoru）、**防災行政無線**などでお伝えします。

<ホームページによるお知らせについて>

地震発生時にも気象警報表令時・荒天時等と同様に、状況に応じて市内放送やメールにより発信した情報を市HPに掲載いたします。

アドレスはこちら…

<https://www.city.katsuragi.nara.jp/soshiki/gakkokyoikuka/3/gakkoukinkyutaiou/index.html>

